

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
マスコミ論	2	後期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(すずき ひろと) 鈴木 博人	授業の初回時に連絡、説明します。			

(英文科目名 Introduction to Mass Communication)

授業の概要

新聞、出版、放送を中心としたマスコミの実態と、あるべき姿を理解し、活用方法を習得する。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。電子メディアの急速な発展に伴って、新聞、出版、放送のマスコミは激動期を迎えています。一方、急成長してきた電子メディアも、米大統領選などから「フェイク(虚偽情報)」問題、「まとめサイト」の著作権侵害・記事捏造問題などで信頼が揺らいでいます。この科目は、マスコミの実情を理解したうえで、マスコミ各社が電子技術などの活用によって、いかに脱皮を図ろうとしているかを理解することに主眼を置きます。同時に、マスコミのプロ(記者、編集者、プロデューサー・ディレクター)との距離を縮めて各メディアになじみながら、活用法の習得を目指します。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	既存マスメディアと新興電子メディアの情報収集、編集、伝達方法の根本的な相違点を確実に理解する。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	正確な情報を得るにはどのメディアを使えばいいか、情報は間違いないか、判断を誤らない技法を身につける。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。		
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

新聞、雑誌、電子媒体などを活用して、最新情報をもとにした授業展開を心がけます。したがって、受講生の皆さんも、毎日メディアに触れながら、活用方法(使い分け)を磨いてください。

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	マスコミとは何か。電子メディアの本質的問題とは何か	事前学修: :新聞(全国紙)を第1面から最終面まで精読(90分) 事後学修: 予習した新聞を再度読み、面割を理解する(90分)
2	新聞業界の現状	事前学修:新聞のニュースと電子メディアの同じニュースを読み比べる(90分) 事後学修:予習以外のニュース数本を読み比べ、違いを理解(90分)
3	新聞社の経営	事前学修:新聞の記事(発表物)と、同じ内容のニュースリリースを読み比べる(90分) 事後学修:ニュースリリースをもとに、新聞記事を書いてみる(90分)
4	新聞紙面の構成・記事の書き方、新聞の将来	事前学修:新聞の1面コラム(天声人語など)を書き写す(90分) 事後学修:他紙のコラム数本を書き写す(90分)
5	放送業界の現状	事前学修:NHKと民放テレビのニュースを見比べる(90分) 事後学修:同じテーマのNHK、民放ニュースの違いを認識する(90分)
6	テレビ会社(ラジオを含む)の経営	事前学修:民放キー局とローカル局の番組を見比べる(90分) 事後学修:テレビ東京とローカル局の共通点を探る(90分)
7	テレビ局の将来	事前学修:abemaTV、TVerなどを視聴する(90分) 事後学修:Netflix、Huluの仕組み、評判などを調べる(90分)
8	出版業界の現状	事前学修:図書館(本学、本学以外)で自分の興味のある本がどのくらいあるか確認する(90分) 事後学修:書店で興味のある本の有無を確認する(90分)
9	出版社の経営	事前学修:「日経業界地図」で主要出版社を確認する(90分) 事後学修:業界地図に載っていない出版社を20社調べ、出版物の特徴を理解する(90分)
10	雑誌の興亡	事前学修:事前配布資料で雑誌の分類を理解する(90分) 事後学修:日経ビジネスと日経新聞の同一テーマの記事を比較する(90分)
11	電子メディアの現状と問題点	事前学修:米国の「フェイクニュース」の事例を調べる(90分)

		事後学修:既存メディアの対応を調べる(90分)
12	先端技術と電子メディアの進化	事前学修:プリントで AI、IOT など先端技術の概括(90分) 事後学修:先端技術とマスコミの関連を理解する(90分)
13	マスコミを巡る諸問題	事前学修:「まとめサイト」など電子メディアの情報の発生源を調べる(90分) 事後学修:電子メディア、マスコミの同一情報の違いを確認する(90分)
14	欧米マスコミの現状と将来(報道 NPO と「パナマ文書」「パラダイス文書」)	事前学修:NY タイムズ、ウォールストリート・ジャーナルなど主要メディアの概要をネットで調べる(90分) 事後学修:NY タイムズ、ウォールストリート・ジャーナルなど主要メディアの概要をネットで調べる(90分)
15	マスコミはどこへいくのか	事前学修:過去 1 年間の「特ダネ」を調べ上げる(90分) 事後学修:電子メディアでの「特ダネ」は何か調べる(90分)

成績評価の方法・基準

レポート2回(90%)、平常点およびコメント表の内容(10%)

指定教科書

教科書は使いません。

参考文献等

その都度、好適なものを指示しますが、マスコミ界の概要を理解するには、津田大介『情報戦争を生き抜く』朝日新聞出版 2018 年が推薦できます。

履修上の留意点

新聞を自宅でとっていない場合は、図書館などで読むこと。できるだけ図書館や書店に出向き、書籍・雑誌を手にとって活字になじむ習慣を身につけてください。

実務経験